

すいげん

みなみあその今と未来を発信

令和7年
5月1日発行
Vol.69

3月定例会

- ◆「議会新体制へ 2～3
～政策議論を活発化していく～」第1回定例会
- ◆合同常任委員会 4
- ◆「ずばり村政を問う！」一般質問 6
- ◆議会活動 8
- ◆新人議員が地域を巡る 10
- ◆議会紀行 11

▶ 南阿蘇村議会3月定例会

一般質問の様子を動画でご覧いただけます。
下記のQRコードでご覧ください。



※動画をご覧になる場合、
通信料が発生する場合がありますのでWi-Fi環境
での視聴を推奨します。



議会新体制へ～政策

■令和7年度一般会計当初予算 99億8600万円

【令和7年 第1回定例会】

3月5日任期満了に伴う南阿蘇村長選挙及び議会議員一般選挙後、初めての令和7年第1回定例会が3月12日～19日まで8日間の日程で開催された。

総額99億8600万円の令和7年度一般会計当初予算や、令和6年度補正予算、追加の人事案件「監査委員に、吉里啓文氏の再任と議会選出の河内克也氏の新任」、「教育委員に増田ゆかり氏の再任」を含む31議案（予算12、条例10、人事2、その他7）をすべて可決、同意した。

初日には、議長をはじめ、常任委員会委員・特別委員会委員等の選任が行われ、新しい議会構成が決定した。一般質問は、2名の議員が登壇した。

【令和7年度一般会計当初予算】

主な事業	ふるさと寄附金関連経費	2億4980万円
	中山間地域直接支払事業	1億8685万円
	情報システム標準化対応業務	1億4666万円
	多面的機能支払事業	1億3726万円
	GIGAスクール児童生徒用タブレット及びネットワーク更新業務	1億1548万円
	橋梁補修事業	7500万円



大石・西1号線



中園・松ノ木線

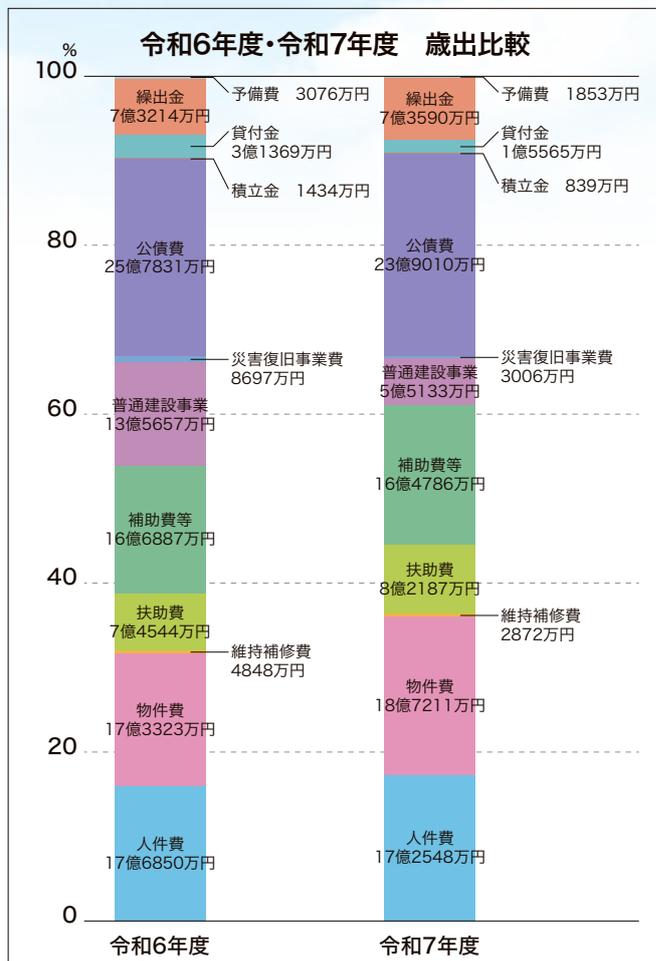
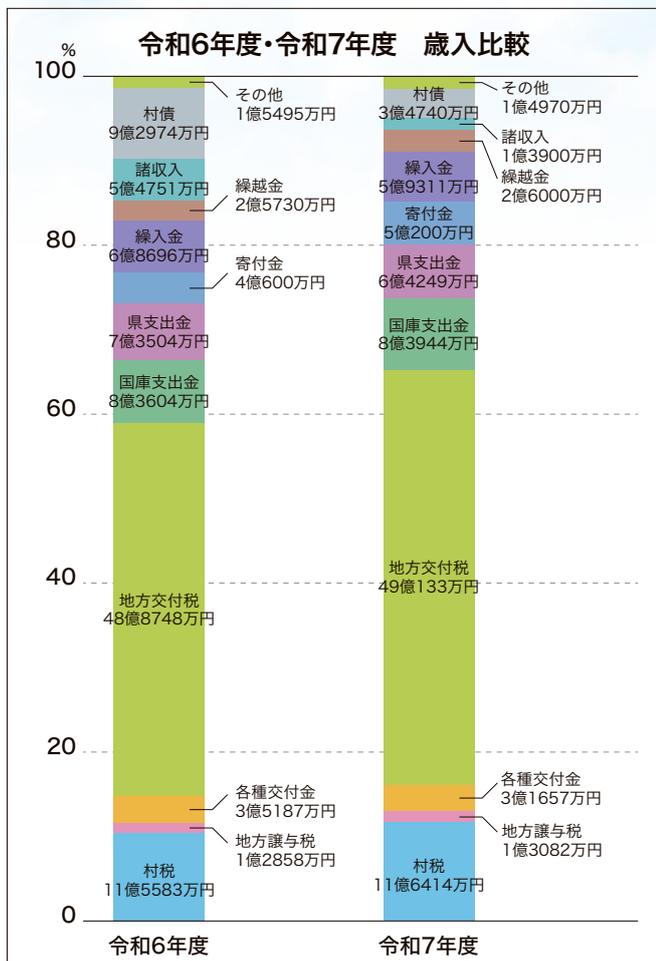


宮園・北ノ原線



GIGAスクール児童用タブレット

議論を活発化していく～



【令和6年度補正予算】

主な事業	内容	金額
	旧長陽西部小学校外構工事	2430万円
	横道下ポンプ入換工事	340万円
	保育所広域利用委託及び施設型給付費	268万円
	南阿蘇鉄道管理機構負担金	218万円

【令和7年 第1回臨時会 (1月28日)】

議案	主な審議内容
議案第1号	南阿蘇村一般職の給与等に関する条例等の一部改正について
議案第2号	南阿蘇村会計年度任用職員の給与等に関する条例の一部改正について
議案第3号	令和6年度南阿蘇村一般会計補正予算 (第6号) について
議案第4号	工事請負契約の変更について (阿蘇立野ダム仮設備ヤード拠点施設新築工事)

定例会7日目（3月18日）総務産業、文教厚生のコ合常任委員会を開催。
第1回定例会に上程された議案について執行部に詳細な説明を求めた。

村道改良について

〈工藤眞巳委員〉

本年度の継続事業として骨格予算に組み込まれている村道3路線の進捗状況について説明を求めらる。

〈建設課長〉

村道宮園～北の原線は旧両併小学校東を通る道路で、平成31年度から改良を進め、令和7年度完了予定。路線延長1,100mのうち944.7mを完了し改良率86%。令和7年度は155.3m改良予定。

村道大石1号線は久木野駐在所近くを南に進む道路で、令和3年度着手、令和9年度完了予定。延長390m中165.5mを完了し改良率42%。令和7年度は62.2m改良予定。

村道中園～松木線は松の木公民館付近を通る道路で令和6年度から改良開始、延長270m中36.6mを完了し改良率14%。令和7年度は73.2m改良予定。

結婚新生活支援事業は

〈坂田正也委員〉

結婚新生活支援事業300万円及び防犯カメラ設置事業150万円について説明を求めらる。

〈総務課長〉

結婚新生活支援事業は本年度新設で、1組あたり60万円補助を提供。

防犯カメラ設置事業は、防犯協会に150万円助成を行い、申請に基づき計画的に設置を進める。

有機農業について

〈今村竜喜委員〉

有機農業推進事業の内容と委託先について説明を求めらる。

〈農政課長〉

有機農業推進費は国の「みどりの食料システム戦略」に基づく国庫補助事業。有機農業転換推進事業250万円をはじめ、産地づくり推進緊急対策事業で有機栽培技術の実証実験を実施。

委託先は農業みらい公社を予定。

パークゴルフ場の活用について

〈坂田正也委員〉

一心行公園のパークゴルフ場赤字問題を受け、花公園への活用案を提案。

〈企画観光課長〉

令和6年議会で村内3パークゴルフ場の使用料改正を行ったが、収支改善が課題。

一心行公園を花公園化する案について、今後関係団体等と協議予定。

〈村長〉

持続可能な運営を目指し、花公園化案を含め多角的に検討する意向。



阿蘇白水温泉 瑠璃について

〈山室昭憲委員〉

瑠璃温泉売買契約の所有権移転制限条項に関連し、現状の確認を求めらる。

〈企画観光課長〉

所有権移転については「やむを得ない理由」により事前相談があり、書面提出を受けた。違約金については顧問弁護士と協議中。新事業者候補が金融機関と交渉中であり、早期再開を目指している。

〈山室昭憲委員〉

村による買戻し案や、次の事業者選定に関して説明を求めらる。

〈村長〉

買戻し案を含む可能性を検討中。現交渉先の進展を待ち、村民の期待に応えられる方策を慎重に進める。



常任委員会紹介～よろしくお願ひします～

議会に常におかれてある委員会で、所管事務の調査等、また条例はじめ議案等の審査を行います。
南阿蘇村議会には、次の2つの常任委員会があります。

総務産業常任委員会

総務課、企画観光課、税務課、農政課、建設課、会計課、他の常任委員会の所管に関しない事務



委員長 市原 恵一



副委員長 坂田 正也



委員 橋本 功



委員 後藤 征昭



委員 今村 竜喜



委員 古澤 博之

文教厚生常任委員会

定住促進課、住民福祉課、健康推進課、子育て支援課、水・環境課、保育所、教育委員会の所管に関する事務



委員長 岡 智則



副委員長 工藤 眞巳



委員 山室 昭憲



委員 河内 克也



委員 山本 涼子



委員 丸野 隆大

特別委員会紹介

議会運営委員会

委員長 後藤 征昭
副委員長 市原 恵一
委員 坂田 正也
〃 岡 智則
〃 工藤 眞巳

議会広報特別委員会

委員長 坂田 正也
副委員長 古澤 博之
委員 山本 涼子
〃 工藤 眞巳
〃 丸野 隆大

矢部阿蘇公園線推進特別委員会

委員長 橋本 功
副委員長 河内 克也
委員 後藤 征昭
〃 市原 恵一
〃 岡 智則

阿蘇広域行政事務組合議会議員

後藤 征昭
河内 克也
岡 智則
工藤 眞巳

ずばりここが聞きたい 村政を問う!

一般質問は、会議録に基づき、質問者本人が編集し、議会広報特別委員会で構成し、掲載しています。詳細は、会議録の閲覧ができます。

▶南阿蘇村議会3月定例会

一般質問の様子を動画でご覧いただけます。
下記のQRコードをご覧ください。

※動画をご覧になる場合、
通信料が発生する場合がありますのでWi-Fi環境
での視聴を推奨します。



一般質問

—— ここが聞きたい ずばり村政を問う!

河内 克也議員

村長の政治姿勢(公約、財政面)は?

河内議員

私は一般質問を重要視、太田村長と議場で堂々と議論することを大事にしていく。村長の政治姿勢をお聞きする。

- ①掲げた7つの公約をどう具現化していくのか。
- ②当面は厳しい財政運営が見込まれるが、行財政改革をどのように進める方針か。
- ③ふるさと納税の本年度実績と、稼ぐ村へ変ぼうするための基本的考え方は。

オール南阿蘇で取組み着実に実現!

村 長

選挙戦で7つの公約を約束した。当然私一人ではできないのではなく、オール南阿蘇で取り組みたい。

- ①公約ごとに職員プロジェクトチームを作り、また公約ごとに多くのアイデアを出していただくためにワークショップを開催する。事業内容の取りまとめは課長会議や新たに立ち上げ予定の議員との政策懇談会(仮称)でつくり、村総合計画にも反映させたい。
- ②財政が厳しい状況であることに強い危機感を持っている。自由に使える財源が不足している状態。財政再建はまず財政計画を作成し、5年後の健全化を図りたい。歳入は起債に頼るのではなく、積極的に国・県の補助金を活用し、ふるさと納税獲得に力をいれ自主財源増額に努める。歳出は一律削減ではなく、事業の費用対効果や村民にとっての必要性や満足度を勘案し整理していく。村の借金起債残高を減らしながら、必要な事業は実施していく。
- ③納税本年度実績は4億500万円(2月末現在)。公約2年で10億、4年で20億円の高い目標を掲げ、村にもう一つの財布をつくる。稼ぐ村への変ぼうは、抜本的に返礼品・運営委託先等の見直し、有識者の助言取り入れ、

特命職員の配置も必要。併せてSNSを活用、村の明るいニュース等発信し村のPRを行う。また成功自治体事例等、納税倍増施策を学び、取組んでいく。

村の防火、延焼対策は?

河内議員

岩手県大船渡市の山火事等、想定外の大規模火災や住宅火災が多く発生している。消火活動の基本となる消防水利等の施設整備・点検等、本村の状況を検証する必要がある。

- ①新しい住宅地等、防火水槽の整備状況と設置要望時の対応は。
- ②防火水槽、消火栓の定期点検と家庭の消火器設置、更新の啓発は行われているのか。
- ③住宅密集、耕作放棄・荒廃地増で以前より類焼、延焼の危険性が高まっている。村の延焼対策は。

各火災に対応できる体制を整えていく

村 長

- ①新しい住宅地等の防火水槽整備は要望に応じ対応しており、土地と水の無償提供の条件が整えば、区長から申請後、年間2か所設置する計画。また水利のない住宅地は必要に応じ、消防団と状況確認等、住民説明会を実施し、予防消防に努めている。
- ②定期点検は、毎年消防団で実施し、修繕等が必要な場合は、その都度対応。消火器は基本的に各家庭での設置・更新が原則であるが、消火器設置をPRしていく。
- ③消防団で延焼防止研修、大規模山林火災の実働訓練を実施。近年は山林火災に有効な装備として資機材搬入車4台導入し、500ℓタンクで水利のない場所でも40～60分程度消火活動が可能となった。

河内議員

防火水槽設置希望があっても、用地確保が難しい等問題があり、行政が村民の安全を担保するためにも一步踏み込んで対応していただきたい。埋設水槽が路盤沈下で給水が出来ない箇所がある。早急な修理等、対応すべきだ。

村長、総務課長

修繕が必要な施設は確認し、消防担当には村民に寄り添う活動をするよう指導したい。

山本 涼子議員



南阿蘇村の財産について

山本議員

近年、財政赤字を理由に温泉施設等の貴重な財産が売却された。選挙戦の中、財産売却を憂い多くの村民の声が寄せられました。

私の考える南阿蘇村の財産は、「豊かな自然・水源」「阿蘇五岳とその麓に広がる田園風景」「元気の源であるお米を作るに適した環境」です。その中で最も大切な財産といえば『豊富な水』。石油はなくても生きてはいけるが、水が無ければ10日で世界は終わるとも言われている。そして水を巡っては各地で多くの戦争が起きている。

生きる為に大切な水が、南阿蘇村では随所で豊富に湧き上がっている。また阿蘇山の恩恵で温泉も楽しむことも出来ている。そう考えると、南阿蘇村に暮らすこと自体が高額の宝くじに当たったようなものとも言える。世界が憧れる水源の多い日本はこれまで地域で水を管理し守って来ましたが、近年外国の水会社が参入し、熊本県でも6つの市が一部委託し更に、県は官民連携を推進している。(参考；ドキュメンタリー映画「最後の一滴まで」ヨーロッパの隠された水戦争)

余談ですが、熊本の水道水が100%地下水という恵まれた地域ということで、県は菊陽町に半導体工場のTSMCを誘致した。しかし、豊富な水は無限ではない。因みにTSMCの子会社JASMの地下水採取量は一日最大22,000m³にも上り、これは南阿蘇村民が使う10日の量になる。

このような流れもあり県では貴重な地下水を守るため、阿蘇地域の水田の涵養や草原再生に今後取り組むことを推進している。この取り組みが実を結び、何十年何百年もかけて育まれてきたミネラル豊富な水という財産が枯渇しないことを祈るばかりである。

私は毎日の様に愛犬と家の近くの展望台から南阿蘇の風景を眺めては、癒されそして活力を貰っ

ている。田植えの時期は田んぼに水が張られ、更に心底満たされる。こんな素敵な場所であるからこそ、これからも南阿蘇村に移住して来られる方が増えることは予想される。ただ、少し心配な面もある。近年、日本では全国的に土地や水源地が外国人に広範囲にわたり買われていると聞く。また、北海道のニセコがよく話題にのぼるが、今後南阿蘇村の近い将来ニセコの様にならないか強く危惧している。

そして、豊かな自然に恵まれた南阿蘇村の未来を担う子ども達もまた大きな財産である。この子ども達の為にもここに住む私たち大人が南阿蘇村の財産を自分達の手でしっかり管理し、守っていくことが大事だと考える。

そこで、これからの任期で太田村長は、財政回復の為に南阿蘇村の財産を売却する考えをお持ちか、あるいは売却せず貴重な財産を生かした取り組みをお考えであればお聞きする。

村民お一人お一人が最大の財産

村 長

人の持つ知識や経験、知恵やコミュニティ精神は、私達が村で生活する中では大変有益なよりどころになっている。地域の祭りや行事に代表される歴史や伝統文化をしっかり守り、次世代に伝えていくことが大切である。

それにはやはり人。村づくりは人づくりからが私の持論であり、子どもたちの教育環境の充実や後継者育成にも力注いでいく。

村有施設については、まだ多くの過剰施設や重複施設がある。今後実施していく行政改革の中で再度検討を行う。旧久木野庁舎が図書館に生まれ変わった様に、新たな価値を生む利活用も実現。売却の際は慎重に選定していく。

阿蘇立野ダム展望施設「タテット」視察

(令和7年3月14日)

○参加者 議員 9名

3月14日、阿蘇立野ダム仮設備ヤード跡地利用として木造平屋建ての展望施設が完成したので視察を行った。立野地域は九州北部豪雨、熊本地震と立て続けに大きな災害に被災し、9年経った現在も住民帰還率が6割程度に留まっている。今後隣接して広場や遊具を整備されると地域の賑わいや立野地域への帰還に期待できる施設である。

「タテット」…立野の「タテ」＋イタリア語で屋根を「テット」覚えやすく、呼びやすい名称。



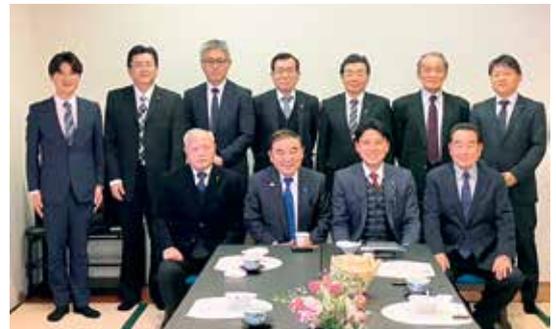
坂本哲志衆議院議員と意見交換会

(令和7年3月15日)

○参加者 議員9名、太田村長

議会定例会休会中の3月15日に急遽、坂本哲志自民党国会対策委員長が南阿蘇村に表敬訪問された。村長、山室議長他議員参加の下、四季の森にて昼食を挟んだ意見交換会が実施された。

まず国会の現状を説明された後に、農業、観光、道路、村政についての様々な質問が村議より出された。その質問に1つ1つ丁寧に回答頂き、参考になる事ばかりであった。時間が足りない程やかで、貴重な意見交換会が出来た事に感謝致すと共に、新体制となった南阿蘇村への更なるお力添えをいただきたい。



町村議会新議員研修会

(令和7年3月26日)

○参加者 議員4名

3月26日、「議会の制度と運営について」の研修会を熊本県町村議会議長会、事務局長古家陽介様の解説で健軍の市町村自治会館で行われた。南阿蘇村、大津町、西原村、湯前町から事務局員3名、新人議員13名の内、本村より4名の新人議員が出席した。議員の座右の書として配られた「議員必携」に沿って、定例会、議案の審議、発言等の細かいところまで解説して頂いた。一読では難しいので、何度も熟読を重ねる事が大事だと感じた。



南阿蘇村の魅力を
インスタグラムで
投稿しませんか？

魅力発見 インスタグラム フォトコンテスト2025 募集!!

南阿蘇村議会では、インスタグラムを活用し、村民に写真を投稿してもらうことで、南阿蘇村のおすすめスポットなどの魅力的な写真を広く発信していくことを目的とし、インスタグラムフォトコンテストを開催いたします。



募集テーマは「南阿蘇村の環境」です。イベントや飲食物、風景等ジャンルは問いません。
南阿蘇村の魅力を広く発信してください。

詳しくは村HPを
ご覧ください



インスタグラム
フォトコンテスト

公募期間

令和7年5月1日～6月30日
(撮影は令和7年4月1日～6月30日までのものとする。)

応募資格

村民ならどなたでも参加OK。
「ハッシュタグに「#魅力発見みなみあそ2025」
南阿蘇村公式アカウント (@minamiaso_life) および
村観光局 (@minamiaso.info) のインスタグラムをフォローしてください。
応募する写真のキャプション (投稿) に「作品タイトル」「撮影場所」を入力。

入賞賞品

特選 1点 南阿蘇村特産品3,000円相当、議会広報紙「すいげん」1面に掲載
入選 2点 南阿蘇村特産品2,000円相当
特別賞 (議長賞) 1点、(議会広報特別委員長賞) 1点 南阿蘇村特産品2,000円相当

発表

入賞者へ直接通知するほか、議会広報「すいげん」等に記載する予定です。

その他

被写体の人物への肖像権侵害等の責任は負いかねます。
アカウント非公開、広告宣伝用と思われるもの、悪質な投稿は無効となります。
応募作品について、南阿蘇村のインスタグラム、フェイスブック、X (旧 Twitter) にリポストする場合があるほか、南阿蘇村及び南阿蘇村議会が作成するチラシ等の印刷物、その他ウェブ媒体などにおいて、主催者が無償で使用できるものとし、
なお、掲載時において編集上の制約や配慮 (印刷色合いや大きさの違い、背景を写し込んだ人や物、掲載不能な部分のボカシ処理やトリミングなど) により、作品を加工する場合がございます。

新人議員が^{めく}地域を巡る 地区自慢

久木野八駐在区

今年度より小堀孝二さんより区長を引き継がれました、“古澤勝康”さんに聞きました。

移住者の多い地区ですが、ここ数年更に増え現在290（+11外国人）世帯。この地域の自慢と言えば、牧野の中にひときわ、存在感を放つ「観音桜」。まもなく樹齢100年を迎える「観音桜」は、近くに馬頭観音様が祀られていることから地元住民の方が命名されたそうです。樹木医さんと地元の皆さん方の手厚い管理で大切に守られていました。

また、平成5年着工の俵山トンネル工事で出た土を再利用し、深い谷を公園化した岸野谷公園は、住民の憩いの場所となっているそうです。



観音桜



中央 古澤区長

立野区

今年度より中山良一さんより区長を引き継がれました、“松元一八”さんに聞きました。

この地域の自慢と言えば、『阿蘇の玄関口』の名に恥じぬ眺望で、特に「阿蘇立野ダム展望台」からの「南阿蘇鉄道」「阿蘇立野ダム」「北向山原生林」を一度に楽しめる景色は圧巻です。

平成28年熊本地震により一部休線していたものの令和5年7月15日、7年ぶりに全線運行再開した南阿蘇鉄道は今も地元住民だけでなく観光客にも愛されています。

令和6年4月より運用開始した阿蘇立野ダムは堤高87m、堤頂長197m。普段は白川の流れを遮らず、大雨で白川の水量が増えた時に下流へ流れる水量を調節する自然に配慮した流水型ダムです。

昭和44年に国の天然記念物に指定された北向山原生林は、太古の昔からほとんど人の手が入っていない手つかずの自然が残っています。

ここからの眺めは自然と人工物の共存をダイナミックに感じられます。



北向山原生林、阿蘇立野ダム、トロッコ列車

議会『村議会に』紀行『聞こう』

村民の皆さまからよく聞かれる疑問に答えてみました。

ふるさと寄附金(ふるさと納税)とは？

ふるさと納税は、自治体（都道府県・市区町村）に寄付することで、寄付金額に応じた税金の控除を受けられる制度です。寄付先の地域から特産品などの返礼品をもらうことができ、実質的に税負担を軽減しながら地域貢献ができます。好きな自治体を選んで応援できる点が特徴です。

自治体に対して2,000円を超える寄附をした場合、その2,000円を超える部分が、「その年分の所得税」と「翌年度分の個人住民税」から寄附金控除されます。（ただし、個人住民税所得割の2割までしか控除されないなど、一定の制限があります。）

「ふるさと納税制度」とされていますが、どの自治体に対する寄附でも対象となります。出身地でなくても構いません。また、南阿蘇村民が南阿蘇村に対して行う寄附も対象です。（ただし、返礼品はもらえません。）

控除を受けるためには、原則、寄附をした翌年に確定申告を行うことが必要です。

なお、確定申告が不要な給与所得者等について、ふるさと納税先が5団体以内の場合に限り、ふるさと納税先団体に申請することにより確定申告不要で控除を受けられる「ふるさと納税ワンストップ特例制度」があります。



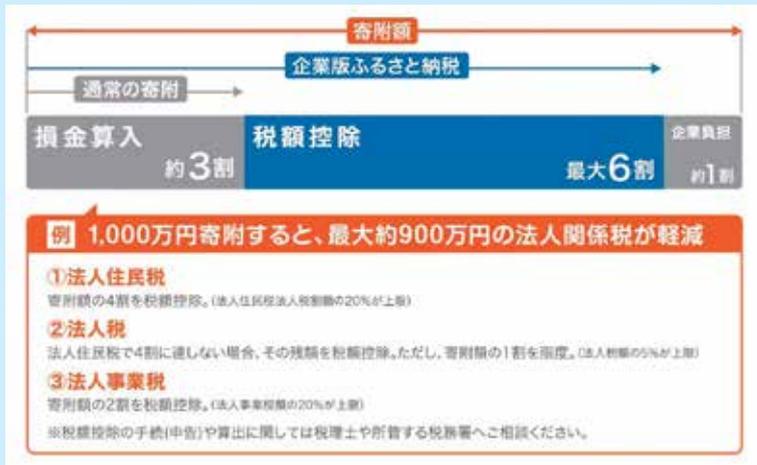
ふるさと納税 HP

地方創生応援税制(企業版ふるさと納税)

企業版ふるさと納税は、国が認定した地域再生計画に位置付けられる自治体の地方創生プロジェクトに対して企業が寄附を行った場合に、法人関係税から税額控除する仕組みです。

損金算入による軽減効果（寄附額の約3割）と合わせて、令和2年度税制改正により拡充された税額控除（寄附額の最大6割）により、最大で寄附額の約9割が軽減され、実質的な企業の負担が約1割まで圧縮されます。

実際に活用した企業からも「自治体等との新たなパートナーシップ構築に繋がった」、「企業に求められているSDGsやESGに寄与できた」といった声をいただいています。



新正副議長ご挨拶



議長 山室 昭憲

議員各位の推挙により引き続き議長の重責を担わせていただくことになり、公正公平な議会運営を心がけますので、どうか宜しくお願いします。

今年、南阿蘇村が誕生して20年を迎えた節目の年であります。この間、議会では議員定数の削減を初め、常任委員会の再編、議会基本条例及び議会議員政治倫理条例の制定等、議会改革に取り組んでまいりました。

二元代表制の一翼を担う政策決定機関としての自覚と責任を持ち、単に執行部からの提案を追認することなく、十分な議論・討論を重ね是非を判断できる議会、さらには議員側からも政策の立案、提言を示せるような議会を目指しています。

新議会として、新たな気持ちで本村の村勢の限らない飛躍発展を執行部と一丸となって推進してまいります。今後とも議会に対してご理解とご協力をお願い申し上げます。



副議長 今村 竜喜

この度、令和7年度第1回定例会において副議長就任にあたり一言ご挨拶申し上げます。

皆様方の御推挙をいただき、要職に就かせていただくことになり、この上なく光栄に存ずるとともに、その責任の重大さを痛感しておる次第です。

村制施行20周年を迎え、今後の5年、10年、20年に向けて更に進んでいかなければなりません。

議会が公正かつ円滑に運営されるよう議長を補佐し、また村の発展のため職責を全うしてまいりますので、皆様方の更なる御支援を賜りますよう、心からお願い申し上げます。就任のあいさつとさせていただきます。

議会事務局職員異動

お世話になりました！

前議会事務局長
桐原 恵



よろしく
お願いします！

議会事務局長
安達 幹夫

編集後記

南阿蘇村は昨年「自立持続可能性自治体」として評価されました。村民は、村の新体制に期待しています。議会広報紙は本号より、新メンバーでの発行です。村民にとって身近で分かりやすい「すいげん」の発行に努力してまいります。

村民の皆様、健康に気をつけて楽しい毎日を過ごしてください。そしてご自愛ください。
坂田 正也

議会広報特別委員会

委員長 坂田 正也
副委員長 古澤 博之
委員 山本 涼子
〃 工藤 眞巳
〃 丸野 隆大

発行責任者

議長 山室 昭憲